

2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月7日

上場会社名 キャリアバンク株式会社
 コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

上場取引所 札

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2020年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	4,372	0.1	120	336.3	119	256.8	38	179.5
2019年5月期第3四半期	4,369	2.3	27		33		13	

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 54百万円 (416.4%) 2019年5月期第3四半期 13百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	38.71	
2019年5月期第3四半期	13.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	3,015	1,163	26.7	810.95
2019年5月期	2,476	1,127	32.1	801.31

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 805百万円 2019年5月期 795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		13.00	13.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,038	5.0	131	27.5	129	16.4	53	0.9	54.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期3Q	993,000 株	2019年5月期	993,000 株
------------	-----------	----------	-----------

期末自己株式数

2020年5月期3Q	株	2019年5月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期3Q	993,000 株	2019年5月期3Q	993,000 株
------------	-----------	------------	-----------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、雇用を取り巻く状況は有効求人倍率が高い値で推移し、依然として人手不足感が続いております。また、働き方改革やA I及びR P Aの導入など、雇用環境そのものが大きく変化しております。その中で当社グループは企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たすため、質の高い人材サービスの提供を通じて双方が求めるニーズに応えてまいりました。

人材派遣関連事業においては、直接雇用への切替による派遣契約の減少等を新規受託案件で補填できなかったことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材派遣関連事業(関東)においては、売上高は前年同期を下回りましたが、売上総利益率の改善に努めた結果セグメント損失を縮小できました。人材紹介事業においては、売上高は前年同期を下回りましたが、医療系紹介の成約数が増加したこと及び外国人の紹介事業等が堅調に推移したことによりセグメント利益は前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、雇用政策関連事業の受託数が増加したことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。ペイロール事業においては、給与計算業務に付随する周辺業務の受注及び年末調整処理業務の受注が大幅に増加したこと等により、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。日本語学校運営事業においては、募集営業が堅調に推移したことで生徒数が順調に伸びたことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。その他事業は、中国語研修事業における受講者数の減少により、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高4,372,161千円(前年同期比0.1%増)、営業利益120,627千円(前年同期比336.3%増)、経常利益119,204千円(前年同期比256.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益38,434千円(前年同期比179.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ539,247千円増加し、3,015,600千円となりました。これは主に売掛金の増加1,065,722千円とそれに伴う現金及び預金の減少525,169千円との差額等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ503,973千円増加し、1,852,510千円となりました。これは主に買掛金の増加97,203千円、短期借入金の増加300,000千円及び未払消費税の増加51,186円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35,273千円増加し、1,163,089千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上利益剰余金の増加25,525千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月9日に発表いたしました2020年5月期(2019年6月1日から2020年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,368,772	843,602
売掛金	556,290	1,622,013
その他	43,164	51,939
貸倒引当金	△1,850	△952
流動資産合計	1,966,377	2,516,603
固定資産		
有形固定資産	141,682	139,812
無形固定資産		
のれん	48,075	43,267
その他	89,631	106,463
無形固定資産合計	137,706	149,730
投資その他の資産	230,586	209,453
固定資産合計	509,975	498,996
資産合計	2,476,353	3,015,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,544	146,747
短期借入金	500,000	800,000
未払費用	254,455	286,147
未払法人税等	39,973	31,125
未払消費税等	46,329	97,516
その他	92,283	129,522
流動負債合計	982,586	1,491,060
固定負債		
長期借入金	350,000	350,000
その他	15,950	11,450
固定負債合計	365,950	361,450
負債合計	1,348,537	1,852,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	63,677	63,677
利益剰余金	418,568	444,093
株主資本合計	738,486	764,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,476	45,290
為替換算調整勘定	△1,261	△4,030
その他の包括利益累計額合計	57,215	41,260
新株予約権	2,030	2,030
非支配株主持分	330,083	355,787
純資産合計	1,127,816	1,163,089
負債純資産合計	2,476,353	3,015,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	4,369,250	4,372,161
売上原価	3,458,230	3,399,763
売上総利益	911,019	972,398
販売費及び一般管理費	883,371	851,771
営業利益	27,647	120,627
営業外収益		
受取賃貸料	6,644	6,794
受取配当金	2,901	2,483
その他	6,460	2,248
営業外収益合計	16,006	11,526
営業外費用		
支払利息	2,820	3,137
貸貸費用	6,222	6,335
その他	1,202	3,476
営業外費用合計	10,245	12,949
経常利益	33,408	119,204
特別利益		
投資有価証券売却益	17,987	3,549
特別利益合計	17,987	3,549
特別損失		
訴訟和解金	—	4,714
特別損失合計	—	4,714
税金等調整前四半期純利益	51,396	118,039
法人税等	21,656	42,106
四半期純利益	29,739	75,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,987	37,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,751	38,434

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	29,739	75,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,165	△16,050
為替換算調整勘定	△4,493	△5,418
その他の包括利益合計	△16,659	△21,469
四半期包括利益	13,079	54,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,051	22,478
非支配株主に係る四半期包括利益	12,027	31,985

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。